

考えて、動いて、話して、考え抜く！

開催決定!!

第13回 社会人力養成講座

1 日目

6月12日(木)

2 日目

6月13日(金)

3 日目

7月4日(金)

全 3 日間

(9:00~18:30 日により受講時間が多少前後します。詳細は裏面をご確認ください。)

2025年も『社会人力養成講座』が開催されることが決定しました！

この講座は、リアルな学びを重視し、受講者に考えることを常に意識させる「気づき」を提供してきました。

これまでは素直さと真面目さが「強み」とされましたが、今後はさらなる「強み」が求められます。要するに、言われたことを素直に受け入れるだけでなく、さらにそれを深掘りしていく論理力、疑問があれば提示できる質問力、モノゴトを簡素にできる整理力、新しいことにチャレンジできる考動力などを育むことが必要だということなのです。

こうしたニーズに応えるために、ダンパートナーズでは「社会人力養成講座」を開催し続けています。

この講座では、現代社会においてキャリアモデルがない現実を踏まえ、組織の成長に貢献するためにどのような人材が必要かを考えることに重点を置いています。

「どのような人材が自社を成長してくれるのでしょうか？」

■ 社会人力養成講座とは

〈考えて、動いて、話して、考え抜いて〉考動力・協働力を養成する人財教育講座

ダンコンサルティングでは、「社会人力養成講座」を開講しています。

この講座は、20 年以上前に経営者の方々から「社員とのコミュニケーションがうまくいかない」というお悩みを伺ったことがきっかけで始まりました。その際、単に伝え方や受け止め方というコミュニケーションの問題ではなく、一人ひとりの「考える力」の向上がより重要であると感じました。当時、「考える力」を育てる講座が世の中になかったため、弊社にて企画し、講座を立ち上げました。

中小企業の経営者と話す中で、人材活性化のテーマでご相談いただくことが圧倒的に増えてきました。色々なことは知っているが、何のために仕事をしているのかの理解が低い社員が多くなってきていると感じておられるようです。知識を習得することを重視してきた社会によって、知識は豊富だが物事を深く考えることが苦手という人たちが多数生まれてきたためでしょう。

「覚える教育」中心から「考える教育」中心へと時代が変わっていく中で、社会の課題を解決することを考えられる人材を育てなければ企業の継続につながりません。

そこでダンコンサルティングでは、中小・中堅企業の後継者やリーダーが力を生むための「考えることが DNA になるための講座『社会人力養成講座』」を企画し、10 年以上に渡り開催し続けてきました（コロナ禍は一旦休止）。2024 年の第 12 回開催までの受講者数は 150 名以上になります。

講座では、「新しい価値創出に向けた課題の発見」「問題解決の実行力」「異分野と融合できるチームワーク」といった力の向上に主眼を置き、常に講師から「問い掛ける」とことと「答えは無数にある(ないかもしれません)」ことを身体で理解してもらう工夫をしています。

■ 「考え抜く力」を育てる～考え抜く力の重要性

21 世紀の社会では、無から有を生み出す「考える力」と、それを実行に移していく「自ら動く力」のセット、つまり、「考動力」が求められます。

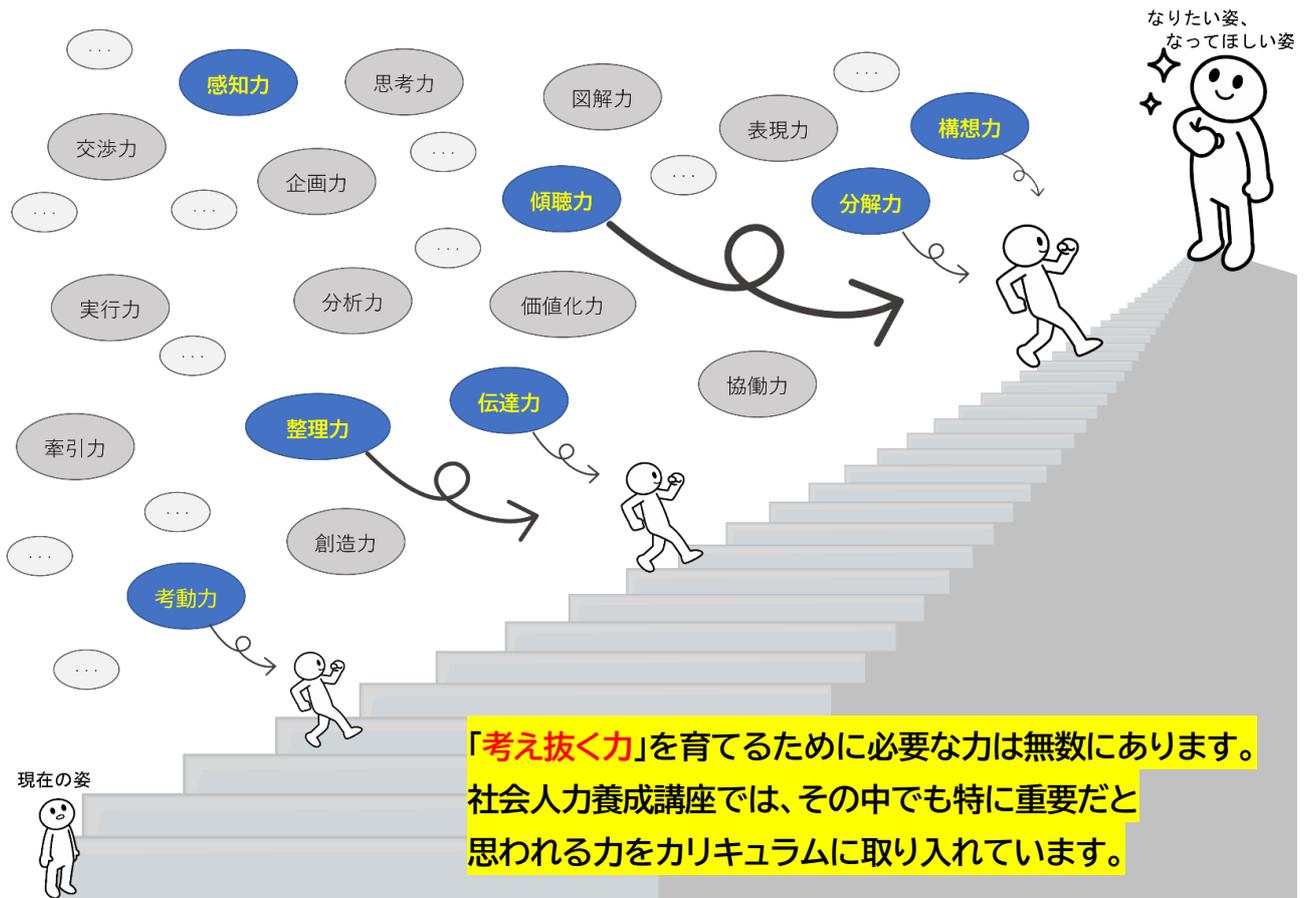
考えて動くためには、常に何かに「気付く」ことが大切です。それは好奇心と呼べるものかもしれません。つまり、「考動」は「気付き」から始まるということなのです。

日本の社会においては、小さな頃から「指示する」「答えを教える」という教育が行われており、社会人になっても同じことが繰り返されています。そのため、クイズのような答えが用意されている質問には知識の蓄積で対応することができても、答えのない未知の問題には困惑、狼狽、放縦、断念でしか対応できない現実があります。

「無」から「有」を生み出す考動力を身につけるためには、自ら疑問を持ち、考えて、自分で答えに辿り着くことを繰り返し、「答えは無数にある、あるいは答えがない」ことを身体で理解しなければなりません。ロールモデルの無くなった社会では、知識を得る訓練や早く正解に辿り着くための訓練では人生を楽しめません。気づいて考えて動くことを DNA にしなければ、「これから消滅していく仕事」しかできなくなってしまうということです。

「考える力」「考え抜く力」の身に付け方や「気づき」の重要性に自ら気付いてもらう講座が「社会人力養成講座」なのです。

■ 「社会人力」のイメージ



■ 講座概要、及び 講師紹介

<p>第2講座「傾聴力」</p> <p>鳥居 正男 氏 …外資系製薬メーカー日本代表の社長を 28 年間に渡り歴 任されて来られた経験と実績を持つ</p>	<p>『傾聴力』とは、謙虚な姿勢で相手の話に耳を傾け、本音の情報を引き出す力です。真剣に聴くことで、組織の課題を理解し、改革につなげるヒントを得ることができます。特に、耳障りな話の中にもこそ重要な示唆が含まれていることが多く、傾聴を重ねることで信頼関係が築かれ、社員が安心して話せる環境が生まれます。本講座では、傾聴を通じて組織を活性化し、より良い関係を築く方法について考えます。</p>
<p>第3講座「整理力」</p> <p>加藤 秀一 氏 …前向きな人を育て、個人と組織に必要なネットワークをゼ 口から創る専門家</p>	<p>『整理力』とは自分整理力のことで、過去から現在の実態を理解することです。自分自身の歴史を、深く掘り下げることで現在を認識して、未来に向けた個人のブレない軸を探します。過去を深く知り、現在を理解し、未来を考える、が一目瞭然にわかる「自己発見マップ」を用いることで、自身の強みを知り、自信を持ち、未来の自分を描き出します。最終的に、意志として伝えることで、夢の実現へ向けた考え方をまとめるきっかけを得ることができます。</p>
<p>第4講座「共創力」</p> <p>ダンウェイ(株) 代表取締役 高橋 陽子 氏 …障害者の就労支援や教育、ICT、クリエイティブ事業など 幅広い分野で活躍</p>	<p>『共創力』とは、異なる立場や価値観を持つ人々と協力し、新たな価値を生み出す力です。共に創り上げるためには、自分とは異なる視点を理解し、相手の考えを尊重する姿勢が不可欠です。本講座では、背景の異なる人々と協働し、創造的な成果を生み出すための考え方や実践方法について学んでいただきます。</p>
<p>第5講座「観察力」</p> <p>人生・ブレイブ(株) 代表取締役 千田律仁 氏 …多様な専門家と連携しながら「総合オンラインアカデミー」 を運営し、人々の学びと成長を支援する</p>	<p>『観察力』とは、物事や人をじっくりと観察し、本質を的確に捉える力です。的確な観察には、単なる視覚情報の収集だけでなく、相手の立場や状況を理解しようとする姿勢が欠かせません。本講座では、観察を通じて洞察力を磨き、より深い理解に基づいた判断や行動につなげるための実践的なアプローチを学びます。</p>
<p>第6講座「伝達力」</p> <p>イーレイルシーエー(株) 代表取締役 山口 紀生氏 …6年間の教職の後に私塾を立ち上げ、日本初の株式会 社立小学校を設立する</p>	<p>『伝達力』とは、相手に正しく伝える力です。「伝える」ということは、伝えたい意図が相手に理解されているという前提が必要です。つまり、相手の頭の中に、自分が伝えたことがそのまま思い描かれるようにするためには、常に相手の立場を思いやる姿勢が必要だということです。伝達からコミュニケーション、自己表現について、日々、小学校やプリスクールで実践されていることを教えていただきます。</p>

カリキュラム (予定)

6月12日 (木)	9:30	10:00	12:00	12:30	14:30	17:30
	9時 受付開始 9時から	<p style="text-align: center;">第1講座</p> <p style="text-align: center;">「考える」ストレッチ</p> <p>ダンコンサルティング(株) 代表取締役 塩見 哲</p> <p>様々な分野から様々な質問を投げかけることで、モノの見方や考え方のストレッチを行います。※講座内にランチミーティング(昼食)が含まれます。</p>	休憩 自由にお過ごしください	<p style="text-align: center;">第2講座</p> <p style="text-align: center;">傾聴力</p> <p style="text-align: center;">鳥居正男</p> <p>傾聴は良い人間関係の基本です。常に人から学ぶという気持ちで真摯に傾聴する。聴いた内容を自分の頭で考え整理して次に生かす、この繰り返しで自らの成長につながっていきます。</p>	<p style="text-align: center;">第3講座</p> <p style="text-align: center;">整理力</p> <p style="text-align: center;">加藤 秀一</p> <p>頭の中に点在する情報や知識などを結び付けて課題解決に活かすために自己発見マップを用いて、論理的、感覚的なモノゴトの捉え方を養います。</p>	懇親会 新宿駅近くの別会場で18時~20時頃を予定

6月13日 (金)	9:00	11:30	12:30	14:30	16:30	17:30
	<p style="text-align: center;">第4講座</p> <p style="text-align: center;">共創力</p> <p>ダンウェイ株式会社 代表取締役 高橋 陽子</p> <p>相互理解と協力の中で新たな価値を生み出すために、多様な意見に耳を傾け、自分の考えを共有しながら、共通の目標に向かって力を合わせていく。このプロセスを繰り返すことで、人間関係が深まり、信頼と成果を築きながら、自らの可能性も広がっていくことができるでしょう。</p>	お昼休憩 自由にお過ごしください	<p style="text-align: center;">第5講座</p> <p style="text-align: center;">観察力</p> <p>人生・プロデュース株式会社 代表取締役 千田 律仁</p> <p>観察力は良い人間関係を築く基本です。相手を知ろうとする気持ちで注意深く観察する、見たことや感じたことを自分の頭で整理し次に生かす、この繰り返しで自らの成長につながっていきます。</p>	<p style="text-align: center;">第6講座</p> <p style="text-align: center;">伝達力</p> <p>株式会社エデュール エルシーエー LCA国際小学校 学園長 山口 紀生</p> <p>児童教育に20年以上携わってきた講師による実践的な演習により、文章力・発信力などのコミュニケーション能力を高めます。</p>	本日の振り返り	

7月4日 (金)	10:00	12:00	13:00	16:20	17:00
	<p style="text-align: center;">第7講座</p> <p style="text-align: center;">哲学café</p> <p>ダン社会保険労務士事務所 大井川 友洋</p> <p>幾つか用意したテーマについてざっくばらんに考えをお話いただき、他者への理解や自分の見解の変化・深化に気付いていただく場にしたいと考えています。</p>	お昼休憩 (軽食の準備有り)	プレゼンテーション	休憩(審査・集計)	審査発表・講評

※2025年1月現在のカリキュラムです。変更になることもございます。
 ※講師が過去のカリキュラムと同じでも、内容が変わることがございます。
 ※多少終了時間がずれ込むこともあります。

開催要項

開催日	2025年 6月12日(木)・6月13日(金)・7月4日(金) 午前9時00分～午後6時30分 ※ カリキュラムにより開始と終了時刻に変更がございます。 ※ 全日程受講者のみが対象となります。 ※ 最終日はプレゼン成績発表、講師講評があります。派遣元企業の幹部の方々には当日会場へ来場もしくは、後日、webでプレゼンの様子をご覧いただけるように準備します。
料金	180,000円(税別) ※ 2名様のお申し込みの場合、お2人目は150,000円(税別)です。 ※ 料金の中には、テキスト代(講師書籍など)、初日の第1講座内のランチミーティングと懇親会費用、最終日の昼食代を含みます。
定員	12名程度 最大100名ほどが入ることができるセミナールームです。 コロナ禍以降定員を収容人数の15%以下である12名程度として開催をまいりました。 引き続きこの設定にて開催をいたします。スタッフを含めても20%以下の人員を予定しています。
開催場所	日本財託様 セミナールーム(新宿駅西口 徒歩約5分) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル13F 
お問い合わせ先	ダンコンサルティング株式会社 東京都新宿区高田馬場2-18-6 柳屋ビル6階 TEL:03-3232-1409 FAX:03-3232-1198 E-mail: kobayashi@dan-tcg.co.jp

申込期限は4月15日(火)を予定しておりますが、定員に達した場合は、期日前に締め切らせていただく場合がございます。

参加者がお決まりでない場合でも、ご参加を予定されている場合は、早めにご連絡いただけますと幸いです。

第13回 社会人力養成講座 申込書

FAX 03-3232-1198
E-mail kobayashi@dan-tcg.co.jp

下記の通り申込します。

申込日	2025年 月 日		
会社名			
所在地	〒 —		
	TEL() —	/FAX() —	
お申込み ご担当者様	フリガナ		
	氏名		
	メールアドレス	@	

▶ご参加者情報

フリガナ				
ご参加者氏名				
	メールアドレス	@		
	生年月日	西暦()年 月 日(歳)		
	性別	男・女	勤続年数	年
	部署		役職	
	職歴	現在の職場でのキャリアを簡単にご記入願います。		

フリガナ				
ご参加者氏名				
	メールアドレス	@		
	生年月日	西暦()年 月 日(歳)		
	性別	男・女	勤続年数	年
	部署		役職	
	職歴	現在の職場でのキャリアを簡単にご記入願います。		